

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 30 日 (2016.6.30)

【公開番号】特開 2014-201572 (P2014-201572A)

【公開日】平成 26 年 10 月 27 日 (2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2014-059

【出願番号】特願 2013-81115 (P2013-81115)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/198 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 2 3 L 33/17 (2016.01)

【F I】

A 6 1 K 35/20

A 6 1 K 31/198

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 2 3 L 1/305

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 5 月 13 日 (2016.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乳脂肪球皮膜とアミノ酸を組み合わせてなる筋タンパク質合成シグナル増強剤。

【請求項 2】

乳脂肪球皮膜とアミノ酸を組み合わせてなる筋量増加剤。

【請求項 3】

乳脂肪球皮膜とアミノ酸を組み合わせてなる筋萎縮抑制剤。

【請求項 4】

アミノ酸がロイシン、イソロイシン及びバリンから選ばれる分岐アミノ酸である、請求項 1 記載の筋タンパク質合成シグナル増強剤、請求項 2 記載の筋量増加剤、又は請求項 3 記載の筋萎縮抑制剤。

【請求項 5】

乳脂肪球皮膜とアミノ酸を組み合わせてなる筋タンパク質合成シグナル増強用食品又は食品組成物。

【請求項 6】

乳脂肪球皮膜とアミノ酸を組み合わせてなる筋量増加用食品又は食品組成物。

【請求項 7】

乳脂肪球皮膜とアミノ酸を組み合わせてなる筋萎縮抑制用食品又は食品組成物。

【請求項 8】

アミノ酸がロイシン、イソロイシン及びバリンから選ばれる分岐アミノ酸である、請求項 5 記載の筋タンパク質合成シグナル増強用食品又は食品組成物、請求項 6 記載の筋量増加用食品又は食品組成物、又は請求項 7 記載の筋萎縮抑制用食品又は食品組成物。